

国分寺市の信州人

令和2年度総会・無期限延期のお知らせ

皆様お元気でお変わりなくお過ごしでしょうか。今回は、極めて寂しいお知らせです。新年会の楽しく盛り上がった余韻に浸っていたころは、大型クルーズ船によりもたらされた新型コロナウイルスも水際対策で抑え込めるかなと期待をしていました。ところが、あれよあれよという間に、世界中に蔓延し新型コロナウイルスの逆輸入もあり、東京都内においては外出自粛要請が出され、一般市民も身動きもままならない状態に陥りました。更には一番恐れていた「緊急事態宣言」が、4月7日に政府から東京都など7都府県に出され、さらに4月16日には対象地域が全国へと拡大されたことは、新聞・テレビでご案内のとおりです。

長野県人会においても、会員各位の健康を第一に考えると、またこの脅威が短期間に終息に向かうことが期待出来ない状況では、6月に予定していた総会を無期限に延期せざるを得ないとの判断に達しました。誠に残念ですが、今年度の総会を無期限に延期することとします。

従来、総会で配付していた資料「令和元年度活動報告」「2年度の活動計画」等については、取りまとめ次第皆様に配付し、情報の共有化を図ることとしますので、よろしくご理解願います。

県人会の皆様、ご家族の皆様のご無事を心より祈念致しております。



「光輝高嶺者」（後期高齢者）今思うこと

若いころは「短歌」「俳句」「日本画」などあれこれと首を突っ込んだものの、どれもこれも長続きしませんでした。現在は「書道」と「合唱」に生き甲斐を見つけ半世紀近く続けております。

さて、私の生家（松本市今井区）は昔の「寺子屋」で、大きな農家だった先祖の櫻井茂平という人物が、沢山いる小作の子どもたちの先々を案じ村人の師匠として、“手習いの喜び”を与えていたという話を伝え聞いています。

私の友達の家に行くと、年寄りから「お師匠様の稚坊（ちぼ）さん」と呼ばれ歓迎されたものです。寺子屋は常に村人の敬愛を受けていて、神社の一隅には今も教え子によって建てられた立派な石碑が聳え立っております。

寺子屋とは元来、武士の子弟の学び場を称していたように記憶していたのですが、このように信州では豪農が寺子屋を営み、村人の教育の拠り所を作り上げていたようです。このため、「長野県」＝「教育県」と言われるようになったのも、こうした学びに対する長い草の根の歴史が育んだ結果なのかもしれません。松本市にある国宝となった「開智小学校」の歴史には無名の庶民が築き上げた教育にかける情熱が刻まれています。

私の青春時代は上高地を振り出しに、北アルプスの乗鞍、燕、白馬、槍ヶ岳への登山に何度も挑戦し、山肌に咲き誇る可憐な美しい高山植物に癒されて疲れも忘れたものでした。



無鑑査会員

中原遊心



今ここに、信州に「生」を受けた喜びを感じつつ残された日々を大切に過ごして参りたいと思っています。



私が育った田口村は北に浅間山、南に八ヶ岳に挟まれた佐久平の東南にあり、史跡や古刹が沢山点在する歴史の香漂う静かな町です。そこで、今回は故郷の観光案内人になったつもりで、そのいくつかを紹介してみたいと思います。

まず国の重要文化財となっている五稜郭龍岡城址です。小海線龍岡城址駅から東へ1kmのところであり、幕末最後の松平乗謨(のりかた)が田野口藩主になった時、築城したものです。五稜郭といえば北海道函館のものが専売特許のように思っている人がほとんどだと思いますが、実はわが信州佐久の龍岡城にもあったのです。全国で2か所しかありません。五稜郭は星型の土手と城壁で築かれ、廻りにお堀が巡らされております。五稜郭の中には私が通った小学校と中学校があり、9年間、春は桜の土手で遊び冬はお堀の中で下駄スケートを楽しみました。また、敵の侵入を防ぎ攻撃機能も兼ね備えたかぎ手状の枳形をした遺構・龍岡城址も見どころの一つです。



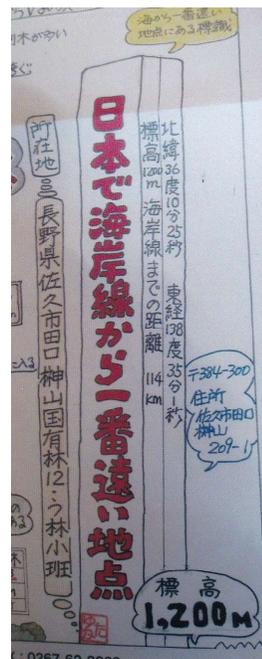
さらに、龍岡城の裏山の山城・田口城址(標高881m)は、室町時代末期、地元の土豪田口氏が築城したもので、戦国時代に武田信玄の佐久侵攻により落城したと伝えられています。

佐久の神社の総社と言われる重要文化財・新海三社神社の三重塔は、和洋を軸としながら随所に禅宗様式も取り入れられており神社成り立ちの歴史が感じられる史跡です

また、ひっそりと佇む上宮寺も見どころ

の一つです。県宝指定となっている梵鐘は南北朝初期の作と言われており、鐘樓の脇に立つ立派な金剛力士像(仁王)も室町時代に作られたものでヒノキや松材を使った寄木造りの構造になっています。田口城址の前に立つ古刹・蕃松院には、武田信玄、勝頼に仕えた猛将・依田信蕃の墓などがあり歴史好きな人にとっては是非一度訪れて欲しいところだと思っています。

そしてもう一つ、標高1200mまでで日本で海岸線から最も遠い地点が、わが田口村で、その距離なんと114km。何か一つ日本一のものがあること、これが大事です。田口村は白田町と合併し、その後佐久市とも合併し現在の佐久市田口となっています。



いつまでも元気で、健康に ちょこっと知識

第4回 国分寺市民スポーツセンターの活用を(連載の最後に自慢話を)

筋肉の量や質を高めることが、健康な生活づくりに大切なことをおわかりいただけたでしょうか。そのために、ジムに行ったり、プールに行ったりすることは大変効果的なことです。

一つ、自慢話と宣伝です。「国分寺市民スポーツセンターの活用を」です。この施設は、「市民の健康づくりに寄与すること」を最大の目的に、「民間のジムにも負けない」をコンセプトに、トレーナーと共に、誰もが利用しやすく、その方の体力にあったトレーニングを、楽しく続けてもらえるプログラムを提供することを目標にしました。今も残っているかわかりませんが、当時は 65 歳以上の方々には無料で利用していただける「オパール（オールド・ピープル・アクティブ・ライフ）制度」を創設し、多くの中高齢者の方々にご利用いただきました。当時は非常に画期的であるとの評価をいただき、TBSの朝の報道番組で紹介され、私も出演しました。

健康で生きるために「体力はとても重要」です。しかし、健康なくらしのためには、「体力」とともに大切なもの、それは「人と人のつながり」「仲間である」とどこかで読んだことがあります。この長野県人会がそうした人間関係をはぐくみ、私たちの健康な暮らしづくりに一役買っていただけらば嬉しいと思います。長期にわたり拙い文章をお読みいただきありがとうございました。(完)



pixta.jp - 54718639

<新会員紹介>



地区	氏名	住所	電話	出身地

<編集後記>

新型コロナウイルスの影響がすさまじい。東村山市出身で久留米高校(サッカー部)OBのコメディアン「志村けん」さんが、あっという間に亡くなり、しかも親族ですらその最期に立ち会えなかったということも我々に衝撃を与えた。今もまだ全世界でコロナは続いているが人間の対応力はたくましく、コロナ禍の影響による働き方の変化がいろいろと出てきている。「時差出勤」「テレワーク(離れたところで働くこと)・在宅勤務」「オンライン配信」等 全事業ではなくても確実に着実に根付き始めている。緊急事態宣言が発せられ外出の自粛要請が出され、街なかから人の姿が消え風景も一変したが、「そういえばあんなこともあったな」と笑いながら振り返れる時が一刻も早く訪れる事を祈っている。